

陸・海・空指揮官 年頭の辞



陸上自衛隊 中部方面隊

総監 陸将 野澤 真

新年明けましておめでとう
ございます。大阪防衛協会の
皆様方におかれましては、丑
年の穏やかな新年をお健やか
にお迎えのことと存じます。
昨年は、コロナ禍での中部
方面隊創設60周年記念行事、
方面隊音楽まつりへの協力、
女性部会による女性自衛官の
激励等、多くの制約の中にお
いてもご支援を賜りましたこ
とに對しまして深甚なる感謝
を申し上げます。
さて、我が国を取り巻く安
全保障環境は、中国による現
状変更の試みの加速、北朝鮮
による核・ミサイルの脅威の
増大及びロシアによる北方領

土周辺での軍事活動の活発化
など不安定要因が顕在化・先
鋭化しています。国内では、
新型コロナウイルスの感染症
の拡大を防止するため、関西
空港や中部国際空港におけ
る水際対策、2府15県での37回
にわたる感染防止策の教育支
援等や12月中旬からの大阪で
の医療支援任務を実施するこ
とも、令和2年7月豪雨に
伴う15日間にわたる災害派遣
や兵庫県、奈良県、和歌山県
、岡山県、広島県及び香川県に
おける鳥インフルエンザに係
る災害派遣を11回実施しまし
た。
令和3年においても、我が

陸上自衛隊 第三師団



師団長 陸将 山根 寿一

新年おめでとうでございます。
3師団創設60周年を迎える1年の
始まりに際し、大阪防衛協会の皆
様に、新年のご挨拶を申し上げる
機会をいただきましたことを光榮
に存じます。
皆様には、平素から国民と自衛
隊との相互理解と親睦による防衛
意識の普及や自衛隊に対する各種
支援等を賜り深く感謝申し上げ
ます。
さて、我が第3師団は、昭和37

復興支援群の派遣をはじめとする
国際平和協力活動等、日本の平和
と地域の安定に貢献できるよう微
力ながら努力して参りました。他
方で、その思いに反して現在の我
が国を取り巻く安全保障環境は、
年々厳しさを増し、また未だ鎮静
下の見通しが予測できない新型コ
ロナウイルス感染症、更には、被
害の激甚化が進む自然災害への対
応等、国防、災害派遣等における
自衛隊への期待が一層高まってい
ることを肌で感じております。
昨年、第3師団は、3月以来新
型コロナウイルス感染症の水際対
策及び市中感染拡大防止、11月の
高病原性鳥インフルエンザ等に係
る災害派遣を実施する一方、感染
症予防対策を徹底し各種訓練を
予定どおり実施することで実動部
隊としての鍛錬を続け、隙のない
近畿2府4県の防衛・警備に取組

国の防衛に努力するとともに、
新型コロナウイルス感染症防止
対策に加え、数多くの災害派
遣等の出動にも即応できるよ
うに備え、国際任務、東京五
輪支援や上級司令部が計画す
る大規模な演習にも参加しつ
つ、練度を向上して参ります。
一方で、少子高齢化の中で
新たな隊員を確保することは、
自衛隊の存亡に関わる課題と
認識しています。隷下各部隊
等と地方協力本部が一丸とな
ってこの課題に取り組みんで
まいります。自治体の皆様
のご協力も不可欠であります。
今後とも大阪防衛協会の皆様
からのご支援とご声援を宜し
くお願い申し上げます。
結びにあたり、コロナ禍で
の医療従事者の方々の献心に
對しまして、深甚なる感謝を
申し上げますとともに、新型
型コロナウイルス感染症が早期
に収束して、実り多き大阪防
衛協会57周年となりますこと
と、会員皆様方のご多幸を祈
念しまして、新年のご挨拶と
させていただきます。

本年で60周年の節目の年を迎え
ます第3師団は、これからも日本
の歴史と伝統の発祥の地であり
日本の政経中核でもあるこの近畿
2府4県の防衛・警備に全身全霊
をもつて取組んで参ります。
大阪防衛協会の皆様方からの
更なるご支援・協力をお願い申し
上げますとともに、辛多き年とな
りますようにご祈念申し上げ、新年
のご挨拶とさせていただきます。



航空自衛隊 幹部候補生学校

学校長兼奈良基地司令 空将補 藤永 国博

新年あけましておめでとうござ
います。大阪防衛協会の皆様方
におかれましては、希望に満ちた輝
かしい新年をお迎えのこととお喜
び申し上げます。また、旧年中は、
航空自衛隊幹部候補生学校及び奈
良基地に對しまして格別なるご厚
情を賜りましたこと、心より深く
御礼申し上げます。
当校の任務は、航空自衛隊の中
核となる幹部を初級の段階から
しっかりと育てることにありま
す。昨年は新型コロナウイルス感
染症対策の影響により、少なから

ず学生教育や各種行事に制約はあ
りましたが、約400名の卒業生
を、計画通り全国各地の部隊等に
送り出すことができました。これ
もひとえに、皆様から頂いたご支
援、ご協力のおかげと感謝してお
ります。
現在、周辺国の軍事力の更なる
強化や軍事活動の活発化の傾向が
顕著であり、既存の秩序をめぐ
る不確実性が増しています。このよ
うな中、令和2年度の航空自衛隊
機による緊急発進件数は、前年度
に比べて減少傾向にあるものの、

周辺国の航空活動は活発であり、
予断を許しません。
昨年を振り返りますと、弾道ミ
サイル発射等に備えた活動を含
め、航空自衛隊は24時間365
日、切れ目なく警戒監視任務に従
事するとともに、新型コロナウイルス
感染症に係る災害派遣や、7
月に九州地方で発生した豪雨災害
をはじめとする各種災害への対応
など、国民の皆様への安全安心のた
め、日夜、任務を遂行してまいり
ました。
このような中、安全保障環境等
の変化に適切かつ柔軟に対応でき
る幹部育成の観点から、当校の役
割はこれまで以上に重要になると
認識しています。当校の教育訓練
や各種行事は、今年も引き続き新
型コロナウイルス感染症対策によ

支援、ご協力とともに、歴代司令
をはじめとする諸先輩方の地まぬ
ご努力によるものであり、隊員を
代表して改めて深くお礼を申し上
げます。国内においては、頻繁に
生起する大規模な自然災害等への
対応において、自衛隊に對してよ
り早期に、より長期に渡り、より
大規模に、より幅広い救援活動が
期待され、しかも自治体や関連機
関との、より緊密な連携が求めら
れています。しかしながら、人口
減少という深刻かつ回避困難な問
題に直面しつつ、これらの活動を
持続的に実施するのは決して容易
ではありません。厳しい環境の中、
海上自衛官の募集をますます推進



海上自衛隊 阪神基地隊

司令 一等海佐 佐藤 広憲

大阪防衛協会会員の皆様におか
れましては、健やかに平成最後の
新春を迎えられたこととお慶び申
上げます。
まず始めに、今年の春先から猛
威を振るう新型コロナウイルスに
罹患してお亡くなりになられた
方々のご冥福を心からお祈り申し
上げますとともに、今なお闘病を
続けている方々の一日も早い回復
を祈念申し上げます。

本年2月の横浜港における「ダ
イヤモンド・プリンセス」号での
集団感染に對する災害派遣以来、
阪神基地隊においても新型コロナウイルス
ウィルス感染症予防に関する任務を
遂行し、以前とは異なる勤務態様
も経験し、隊員間の感染を抑制し
続けています。
本年で阪神基地隊は開隊から
六十九周年を迎えます。これもひ
とえに、地域の皆様の絶大なるご

取り組むべき課題は多岐にわたっ
ております。
このような中、自衛隊大阪地方
協力本部においては、国民の皆様、
地域の皆様の生命・財産を守る自
衛隊として、国防と災害派遣
等に活躍する優秀な人材の確保が
精強な部隊構築の基盤であること
を深く認識し、全部員総出で募集
・援護、予備自衛官業務等に、邁進
しているところでございます。
昨今の少子・高学歴化、また、
猛威を振るう新型コロナウイルス
による影響で雇用状況は厳しい
状態が続いており、各種活動の制
約を受ける中においても創意工夫

し、防衛省・自衛隊の活動につい
て理解の深化を図れるよう大阪防
衛協会の皆様をはじめ、地域の皆
様方のお力添えを得て、これまで
以上に任務の完遂に務めていく所
存ですので、より一層のご支援、
ご協力をお願い申し上げます。
最後になりますが、新型コロナウイルス
感染症の終息を願
いながら大阪防衛協会の皆様には
くれぐれもお気を付けください
ますようお願い申し上げますと
ともに、更なる発展と会員皆様
方のご多幸とご健勝を祈念いた
しまして、新年のご挨拶とさせ
ていただきます。



自衛隊 大阪地方協力本部

本部長 陸将補 濱田 博之

新年あけましておめでとうござ
います。大阪防衛協会の皆様にお
かれましては、健やかに新年をお
迎えのことと心からお慶び申し上
げます。また、昨年は、新型コロ
ナウイルスの影響によりイベン
ト等も中止や縮小を余儀なくされ
るなど様々な活動に制約を強いられ
る状況の中においても、自衛隊大
阪地方協力本部へのご支援、ご協

力に對し、厚く御礼申し上げます。
さて、我が国を取り巻く安全保
障環境は、より一層の厳しさを増
し、多くの課題や不安定要因が顕
在化しております。
また、国内に目を転じると、大
型台風の上陸や異常気象等により
頻発する自然災害への対応や今後
予想されます南海トラフ巨大地震
への備えなど、防衛省・自衛隊が

各種制約を受けることが予想さ
れますが、できないことを嘆く
のではなく、できることを積み重
ねて、新生活習慣を私達の生活標準
とし、創意工夫をもって対応して
いく所存です。そして、国民の皆
様の負担に際するべく、令和の時
代の航空自衛隊を創造できる、前
を向いてあらゆる課題を克服する
気概と、高い志を持った逞しい幹
部を、隊員一同全力を尽くして育
成していく所存でありますので、
今後とも変わらぬご支援、ご協力
を賜りますよう、宜しくお願い申
し上げます。
結びに、大阪防衛協会のご発展
と、会長をはじめとします会員の
皆様方のご健勝とご多幸を心より
お祈り申し上げます、新年のご挨拶と
させていただきます。

し、防衛省・自衛隊の活動につい
て理解の深化を図れるよう大阪防
衛協会の皆様をはじめ、地域の皆
様方のお力添えを得て、これまで
以上に任務の完遂に務めていく所
存ですので、より一層のご支援、
ご協力をお願い申し上げます。
最後になりますが、新型コロナウイルス
感染症の終息を願
いながら大阪防衛協会の皆様には
くれぐれもお気を付けください
ますようお願い申し上げますと
ともに、更なる発展と会員皆様
方のご多幸とご健勝を祈念いた
しまして、新年のご挨拶とさせ
ていただきます。

「ポストコロナにおける日本を救う知恵」

講演会要旨

大阪防衛協会は令和2年11月26日、講演会を行った。

これは本年6月に予定した会員総会時に行う予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴って中止し、講演会のみ実施した。

最初に米国人のロバートDエルドリッジ博士による「南西諸島の防衛について」続いて潜在意識研究家の梅谷忠洋氏が「日本人らしく凛と生きる武士道の知恵」と題して講演した。

会場は新型コロナウイルス対策を入場前の検温と手先の消毒と前後左右約1メートル以上の間隔をとって徹底し、約百の会員と自衛官及びゲスト等計

150名が熱心に聴講した。講演会要旨

▽「南西諸島の防衛について」

現在の日本の安全保障環境は人口の少子化によって自衛官の不足と安全保障に関する教育が大問題である。

南西諸島特に尖閣に関して以下のことを提案します。

まず尖閣が中国に奪われたらどうなるか？「台湾が危ない、沖縄が危ない。そして日本が危ない。さらにインド・アジア太平洋地域が中国の支配下となる。」そうならないため先ず石垣島に尖閣の歴史並びに関連する資料を展示する尖閣資料

▽「日本人らしく凛と生きる武士道の知恵」

日本が世界に誇れるものその筆頭はかつて260年もの長きにわたり、平和を維持してきた江戸時代である。歴史の軌跡といつても過言ではない

この時代は少数の武士たちに統治され、庶民は彼らを尊重し、その命に素直に従っていた。その秘密は日本という土壌に生まれるべくして生まれ、彼らが何よりも大切に育んだ彼らの精神的基盤である武士道がすべて。今から約120年前に新渡戸稲造博士によって「武士道」を英語で出版され、日本特有の道徳的価値を広く知らしめた。

連載エッセイ

夕暮れの街 その89

新渡戸稲造・武士道 77

M&Uスクール学長 梅谷忠洋 (フルート奏者・「おもいで酒」作曲家)



私は「我不是我的我……私は私でない私である」

この言葉は、中華民国元総統・李登輝先生が、晩年に好んで用いた言葉です。とても哲学的表現ですが、その真意は、「人間には、個人としての欲びや楽しみ、生き甲斐だけでなく、公の為に尽くす使命と責任がある。そこにこそ人生の意義がある。それが凝縮されたのが日本の武士道が説く、無私の精神」なのだ」ということです。

李登輝先生とは、先生が我々日本人のために渾身の思いで書き綴られた著書「武士道解題」ノーブルス・オブリージュとは」と、我が拙著「日本人らしく凛と生きる」武士道の知恵」が、2003年1月10日、同日発売で、書店によってはこの二冊が肩を並べて置かれているところもあり、親近感を覚え、先生宛

に我が拙著を恵贈したことも良き思い出です。

▽「ニイタカヤマノボレ」

李登輝先生は、「私は22歳(昭和20年)まで日本人だったことが誇りである」と常々語っていました。先生の経歴を紹介すると、日本統治時代の名は、岩里政男。旧制台北高等学校から京都帝国大学農学部農林経済学科に進み、学徒動員で陸軍に入隊。高射砲隊の少尉として名古屋で終戦を迎えています。日本人として戦争に参加し、台湾に帰ってからは筆舌に尽くしがたい苦勞の末に、総統の地位に就きます。

そして晩年は、「遺灰は新高山に蒔いて欲しい。死ぬことは何も怖くない。日本人として戦争にも行った。台湾総統としても働いた。私は最も高い山から台湾を見守り続け、いつまで

は殺人と誑道(欺きあい)であり、個々に人間関係が成り立つためには武士個人の美しい品性が必要とされた。その結果彼らが体得したの「高い身分に伴う義務の励行」ノーブルスオブリージュ」という道徳的にも最高の感性だった。これが武士道の根幹をなし、そこに名譽心と廉恥心を重ねて慈しみの心、仁心によって素晴らしい人間関係、義を作り出した。名譽心とは「名を汚さない行動をとる」こと、廉恥心とは「同じ間違いを二度としない、恥を知る心」である。

「義を見てせざるは勇無きなり」という言葉に凝縮されるように勇敢な人間は仁義を尊び、ここぞと言う時に立派な行動を発揮する。また彼らは、礼節と、誠を重んじるために嘘はない。また知識を優越の道具とせず、しっかりと世間に役立つ。智慧」とするため周りに一身に、信を集める。ここには墮落した日本に英知と勇気を蘇らせ名実ともに世界のリーダーとして活躍するための必須条件が記されている。

今武士道を学ぶことは我々日本人にとって責務であり、再び素晴らしい日本を復活させる精神的基盤を構築することになる。 ※最後に梅谷忠洋作曲・編曲による「おもいで酒」を自らフルート演奏し、大喝采を博した。(文責 蛭原 ※写真は4ページに掲載)

も離れない」と言うのが常でありました。新高山とは台湾で最も高い玉山の別称です。その標高は3952mと富士山より高く、日清戦争に勝利した際、清国より台湾を割譲されたとき、明治天皇が日本の新しい最高峰(新高山)として自ら名付けられました。太平洋戦争勃発の真珠湾攻撃の暗号「ニイタカヤマノボレ」はあまりにも有名です。

李登輝先生は、「私は22歳(昭和20年)まで日本人だったことが誇りである」と常々語っていました。先生の経歴を紹介すると、日本統治時代の名は、岩里政男。旧制台北高等学校から京都帝国大学農学部農林経済学科に進み、学徒動員で陸軍に入隊。高射砲隊の少尉として名古屋で終戦を迎えています。日本人として戦争に参加し、台湾に帰ってからは筆舌に尽くしがたい苦勞の末に、総統の地位に就きます。

李登輝先生は、「台湾は日本の生命線」と明言し、「台湾が中国に取られれば、日本は終わる。日本人よ、嘗てのような智慧と勇氣に溢れる日本という国を取り戻せ！」と叱咤激励し、尖閣諸島の愚挙に出る中国の野蛮性を指摘した言葉です。

先生がこのような確固たる信念に及んだ根底にあるのが、新渡戸稲造の著書「Bushido - The soul of JAPAN」(1900刊)です。この本の出版より4年後に勃発した日露戦争で、日本軍は「武士道」に則った戦いぶりを見せ世界を震撼させました。

その中で、新渡戸の「義」の解釈に先生は自分の在り方を見いだします。義は「義務」であり「義理」……すなわち、「正義の道理」が我々に為すべきことを要求し、且つ命令するところと、孟子が「義は人の道なり」とキリスト教で「義は神からの要求である」とするのと同じ意味だと感じたのです。先生は、「義」は個人レベルに閉じ込めておくべきことではなく、必ず、公のレベル……公儀として受け止められなければならない」と説きました。

それは、社会のために各人が為すべき事、を指します。新渡戸はそれを抽象的哲学的にあれこれ論ぜず、義を見てせざるは勇なきなり」の一言で、武士としての生き方を示しました。

た。勇とは、あくまで、義を実践するときの姿勢で、義なき勇は「匹夫の勇」(思慮分別のない血気にはやるだけのつまらない人間の勇氣)として軽蔑しました。

一生を学者で終わろうと決心していた李登輝先生が、思いがけなく政治家への道を歩むようになった一因が、祖国台湾を覆う中国の脅威でした。先生は、「そもそも中華人民共和国そのものが孫文の三民主義」を実現するための国家体制である」と公言しながら、一度たりとも民主主義的であったことのない「擬制だ」と喝破します。この中華人民共和国が、祖国統一というもう一つの「擬制」のもとで、「台湾は中国固有の領土、同じ中国人同志」という嘘をついて台湾併合を狙っているのです。この事態に先生は、「私は、これまで一度たりとも、統一には絶対反対」などと言ったことはありません。中国の指導者が自由で民主的な体制を作るようになれば、いつでも統一に応じる用意があると言いつつ、統一にせざるは勇なきなり」の心からだと思います。

昭和二十年八月十五日以降の日本では、「大和魂」や「武士道」といった日本と日本人特有の指導理念や道徳規範は、根底から否定され続け足蹴にされてきました。その結果、現在の日本は、倫理的荒廃が際立っています。我々は今、過去を否定する日本人の自虐的価値観と決別し、戦後75年に渡ってお蔵入りさせてきた「武士道」を復活させる時機到来と、私は感じました。蔵にしまったものは蔵から出せば良いのです!

楯 滴

自助・自立・自己防衛

令和2年を振り返ってみると今まで経験したことのない新型コロナウイルスの猛威に振りまわされ、世界中が大混乱に陥り、従来の世界情勢、社会生活環境や価値観が一変した。そのような中で日本にとつては約8年続いた安倍政権が、菅政権に移行した。しかし国内でコロナ、経済、安全保障と緊急重大な問題が山積しているにも関わらず、一部野党の武士道精神を弁えない議員と偏狂的女性議員の(息子や娘だつたら一喝したくなる)とそれを後押しする偏向マスコミによるモリカケ・サクラ・学術会議問題(特に国内で軍事的安全保障研究を拒否し、中国科学技術協会とは協力覚書を結ぶ矛盾「国民の敵か」)を攻撃材料として時間と国費を無駄遣いしている。もっと罪深いことは国民の大多数を偏向報道によって不快に陥れている。

国際情勢では世界のリーダーたるアメリカが、世界一のコロナ感染国となり、バイデン政権に移行しつつあるが、日本にとって吉と出るか凶と出るか?1月20日以降の変化を注目したい。

そして中国による尖閣諸島への執拗な挑戦に対してはわが国がより一層の防衛力(会長新年挨拶のなか国防を支える5つの柱)を充実し、世界の民主国家群と連携して野望を挫かねばならない。

新年といえども多事多難は覚悟し、自助、自立、自己責任、自己防衛を全うし、自衛隊を核心として国民一丸となって自国防衛に努めなければならない。

(令和3年1月1日KE)

トピックス

大阪防衛協会会員から二人の副大臣と二人の防衛政務官が就任



(写真は左から大西防衛政務官、岸防衛大臣、中山防衛副大臣、松川防衛政務官、内内は宇都外務副大臣)

令和2年9月16日菅内閣が発足し、それに伴い大阪防衛協会会員の左記の4名が副大臣、政務官に任命された。

- 中山泰秀 防衛・内閣府副大臣
○宇都隆史 外務副大臣
○大西宏幸 防衛大臣政務官
○松川るい 防衛・内閣府大臣政務官

今後の活躍を期待します。
中部方面隊創隊六十周年記念行事で会長が祝辞 (10月4日)



大阪防衛協会主催の講演会 (11月26日)



女心の防衛論

デジタル化憂国論

大阪府立大学名誉教授 堀江珠喜



デジタル化への流れは止められない。
昨年の退官後も、大阪府大で木曜の午前中だけ授業を担当した。前期のすべてと後期の大半は「オンライン」による。

私の場合、動画を用いる必要はなく、大学が設けたシステムに、個人のパソコンから入り、学生への説明と課題を文章でアップ。レポートは私のメールアドレスに各学生から届く。
皮肉にも、私が名誉教授になるまで経験のない教え方だが、やってみると、案外、これが面白かった。教室だと寝ている学生も、この方法だと毎週のレポートから逃げられない。また競争相手であるクラスメイトの勉強レベルがわからず、普段よりも頑張っている印象を得た。オンライン授業もなかなか、良いものだ。ただし、である。

確かに伝達方法は、郵便だけの昔に比べ「現代的」でも、内容はあく

までアナログである。
なぜなら、人間が人間を教えるからだ。しかも今回は、各学生のレポートから、知識、考察力、表現力などを理解し、さらに能力を伸ばせるよう個々に、文章で指導する必要がある。

こんな文系的作業は、絶対にAIでは無理なのだ。
しかし不可能でも、そのような非人間的マニュアルで効率を求める社会になりつつあるのが怖い。いつか、私に会ってみたいと、拙宅まで来てくれた学生たちもいて、嬉しかった。

また将来の進路について、2年前の工学系の教え子からメールで相談があったのも、意外だったが、教師としては喜びである。
本来なら文学系の私ではなく、専門の教授を頼るはずではないか。おそらく彼は、理系的ではなく文系的の思考とアドバイスが欲しかったのだろう。「先生(つまり私)の文章から言葉を感じる」との返信が来た。

言葉とは古めかしいが、それこそが相手の心に伝わる人間のアナログ言葉なのだ。なぜなら、人の心はデジタル化し得ないから。
なにに急速なデジタル化社会で、心が潰されないだろうか。
いや、それよりも、マトモな「デジタル化」が、この国ではなされるにないのが心配だ。

東京がGOTOに加わった昨年10月1日、東証のシステムがダウン。6年前には、日本年金機構のコンピュータに外部から不正アクセス事件。私の個人情報の一部も流出し、基礎年金番号が変更された。情報の悪用など、実質的な被害の有無については、今でもわからず不安だ。
これほど立派なコンピュータですら、こんな有様なのに、半年前から国が推進している「マイナポイント」関連システムなど信用できない。

一応は市役所で尋ねたが、なんと119もの決済サービスから一つを選び、いくつものプロセスを乗り越えて、やっと最大5千円分のポイントがもらえとか。
あまりにも手順が複雑。本当にマイナンバーカードを普及させたいなら、役所の窓口で、保持者に5千円

中部方面音楽隊創隊60周年記念コンサート

中部方面音楽隊創隊記念コンサートが下記要領で開催されますのでご案内いたします。

- 日時: 令和3年2月22日(月) 開演18:30~20:30(開場17:30)
場所: ザ・シンフォニーホール (大阪市北区大淀南2-3-3)
応募要領: (無料入場券が必要です)
住所・氏名・年齢・電話番号・職業・希望枚数(3枚まで)明記の上1月末日迄にFAXで事務局へお申し込み下さい。
※応募者多数の場合は抽選とし、当選者に入場券を発送します。
お問い合わせ 事務局へ ☎&F 06-6202-8284



中野伊丹駐屯地司令を囲んで記念撮影

女性自衛官を激励 (12月7日)

大阪防衛協会女性部の池上会長、蓬萊副会長、高見副会長が千僧、伊丹駐屯地の女性自衛官を激励した。

行事メモ

- 中部方面音楽まつり 1月24日(日)
全国防衛協会常任理事会 (西宮)
(東京) 2月18日(木)
☆航空自衛隊幹部候補生(後期)課程卒業式(奈良) 3月8日(日)
全国防衛協会理事会 (東京) 3月10日(水)
第3師団定期演奏会 (伊丹) 3月13日(土)
令和3年入隊・入校激励会 (大阪) 3月14日(日)
中部方面音楽隊創隊60周年記念コンサート(大阪) 3月22日(月)
(共通)陸自▽海自☆空自

新入会員 (敬称略)

- 令和2年10月~12月
賛助会員 (1名) 山中 健 (倉智英吉)
普通会員 (3名) 田中啓晴、福本太一、上NT) 有澤由真(蛭原)



会員増勢運動について 協力をお願い

大阪防衛協会は、昭和三十八年(1963)一月、北陸地方二帯を襲った豪雪に際し、自衛隊が出動し、その献身的な働きに感動した関西経済連合会を中心とする多くの財界人によって昭和三十九年二月松下山幸之助氏を初代会長として創設され、平成二十六年に五十周年を迎えました。
協会は創設以来、PKO・災害派遣隊員の激励慰問、入院患者見舞い、殉職隊員家族弔問慰霊祭協力、新入隊員激励、隊員募集協力等の支援活動を行う他、機関紙の発刊、講演会・フォーラムの開催、音楽隊演奏会の支援、演習等視察見学、体験飛行、航海、青年部による防衛防災フェスティバルや婚活活動等を行ってまいりました。
さらに最近では世界の安全保障環境が激変している中、平成二十八年三月から「平和安全保障法制」が施行されることになりました。
自衛隊は今後ますます厳しい

- 年会費
特別会員(法人) 一口 三万円
賛助会員 一口 一万円
普通会員 一口 三千元
家族会員 一口 二千元
※ご入会希望の方、ご紹介下さる方は事務局までご連絡下さい。
〒541-0041 大阪府中央区北浜5-3-19
大阪防衛協会事務局
電話 FAX 06-6202-8284
メール番号 tek@ace.odn.ne.jp

「国を守る気概」示そう!

2021年版自衛隊カレンダー
希望される方は送料四百円分の切手を左記事務局までお送り下さい。(3部まで)
〒541-0041 大阪市中央区北浜5-3-19
ホワイトビル701号
大阪防衛協会事務局宛
連絡先 ☎&FAX 06-6202-8284

事務局だより

新年おめでとうございます。
本年も「まもり」ご愛読の程よろしく願います。
○昨年は新型コロナウイルスの影響で当協会及び自衛隊の行事もほとんど自粛或いは中止となり、誠に申し訳ございません。しかし晴れてコロナ禍が

